



経営ワンポイント情報「不易流行」

by 目加田博史

「これでよい」で良いのか？

経営は環境適応業ですから、環境が変わればフレキシブルに変身しなければなりません。厄介なのは、環境変化は目に見えない小さな変化が連続して四六時中起きていますので、なかなかわかりません。日々の子供の成長は実感できませんが、久しぶりに会う他人の子供の成長には目を見張るのと同じです。時間軸がはつきりしているアベノミクスや消費税増税のようなわかりやすい変化ではありません。

経営に一番影響を与える要因は「人口」と「資源」です。人口と資源は密接な関係でスパイラル・リンクし、それを調整するのが政治の役割です。資源はビットコイン同様に埋蔵量が決まっているので、外交や安全保障という政治の調整能力が機能しなければなりません。政治で調整できなくなった時、武力で調整することになります。しかし、資源不足は技術革新によって武力を使わなくても調整可能となりましたし、時代が進化し、国際社会が成立したことで野蛮な武力による調整は長期的には国益を損うことが分かっています。

車でもエンジンが主流のころの技術と、モーターが主流になる時代の技術や材料は異なるでしょうし、スマホに代表されるIT機器も一巡すれば、あらたなウェアラブルタイプの体の一部に進化してゆくと思われまします。必要とされる材料や技術は変化してゆくでしょう。ロボット技術もどんどん進化して、ロボットと車とITが合体して次の時代に進んでゆくともまた違うニーズが表れて、求められる材料や技術も変化してゆきます。これらは「資源」問題に直結しますので経済活動する上で、関心を持って見ておかねばなりません。

もうひとつの変動要因である人口は、国連の分析によると、西暦1年に3億人だった世界人口は、西暦1000年には3.1億人と1000年間ほとんど人口は増えませんでした。産業革命が起きた1800年ごろには10億人に増加しています。その後、どんどんと人口は増えて、第二次世界大戦後の1950年には25億人となりました。

1990年には50億人を超え、その後は毎年1億人ずつ増加して、今では70億人を超えています。

これによって地球環境が大きく変わり、温暖化が進み、気象環境は激変しました。四季の移ろいが日本人のきめ細やかさを育ててきましたが、ご承知のように、日本でもゲリラ豪雨や異常積雪、猛烈な多雨と干ばつの繰り返いで、北海道でマンゴができる環境になりました。今までは沖縄でしか経験しなかった猛烈な台風は、気象庁が「命を守る行動」を呼びかけるほどの規模と勢力をもって日本に上陸してきます。

3.11 東北大震災の教訓も相まって、今後の住宅は木造からRCへの移行も視野に入れておく必要があるでしょう。もう、RC造住宅は沖縄の専売特許でなくなる時代が来ます。そうすると、物づくりや建設ビジネス、ライフスタイルの全てに変化が起きます。

さらに日本をはじめ、先進国で深刻な問題となっている高齢化とそれに伴う介護が「生き方」を変えてゆくようになるでしょう。「長生き＝幸福」という物差しでは測れなくなります。最近ではペット、特に犬の高齢化が進み、痴ほう症も出てきているそうです。一人暮らしのお年寄りが癒しを求めて飼った犬が高齢化で介護を必要とするようになるのです。介護されながら犬の介護をするのです。人間の老人ホームとペットの老犬ホーム。ともに、設備が足りなくて困っているのが現状です。

このように連続する微差の積み重ねによって起きた大きな変化が立て続けにやってきます。ビジネスマンは5年先、10年先を予見して、時代の潮流を見つめなければなりません。バカボンのパパが言う「これでよいのだ」は、ビジネスマンは「これで良いのか？」と読み変えないといけないのです。戦後、高度成長一途に刷り込まれてきた価値観が大きくゆらぎ、成り立たなくなっています。10年スパンの時間軸で将来を予見して、今何をすべきかを見直してゆきましょう。

株式会社目加田経営事務所

<http://21cmc.jp>

那覇 〒900-0014

那覇市松尾 1-18-22 8階

TEL098-864-0331

FAX098-860-3416

京都 〒603-8478

京都市北区大宮釈迦谷 4-10

TEL075-334-5105

FAX075-493-8305

好きなもの「えがお」

得意ワザ「見える化」技術

嫌いなもの「現状維持」

2日間の「マルミエ診断」受付中！！

お電話ください。098-864-0331

Email : mec@mekata.co.jp